

目指す学校像	「岸中 前へ！」 心と心の通い合う教育活動を展開し、誰一人取り残すことなく100年人生 Well-being に輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 学びの自律化及び協働的な学びの充実 2 教育支援・教育相談体制の充実、コロナ禍における学校行事の充実 3 本校教育活動の情報発信の充実、本校PTAとの連携強化 4 保護者・地域の期待に応える教育活動の充実
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標							実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<現状> ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、数学ともに全国、市平均と比べ大変良好な結果である。 <課題> ○市の学習状況調査では、学年が低いほど、学習に対する意欲・態度に関する質問に肯定的な回答をした生徒の割合が低い。	・学びの自律化に向けた取組 ・協働的な学びの実践状況	①スタディサブリのWEBドリルや講義動画等を効果的に活用する。 ②学習スペースを設置し広報して、多くの生徒に有効に活用させる。 ③夏季特別学習会を実施する。	①「学びの指標」における生徒の肯定的な回答の状況 ②学習スペースの利用状況、定期テスト前の学習会の実施状況 ③夏季特別学習会の実施状況				
2	<現状> ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、本校は「当てはまる」と回答した生徒は、全国に比べて約10ポイント以上高かった。 <課題> ○不登校生徒に係る教職員間の共通理解・共通行動 ○脱コロナとして、従来行ってきた行事をどのように実施し、生徒たちに連帯感・一体感や成就感・達成感を感じさせるかが課題である。	・校内教育相談体制の充実 ・コロナ下における学校行事の充実	①さわやか相談室・学習室・保健室登校の生徒が目標を持って学校生活を送れるようにする。 ②教員とスクールアシスタント、保健室職員、相談室職員との連携を強化する。 ③教育相談室 (Sola るーむ) の活用を推進し、全ての子どもたちの居場所 (Sola フロアー) を構築する。	①教職員が親身になって悩みや相談に乗ってくれているに対して肯定的回答9割 ②支援を必要とする生徒の情報共有状況 ③スクールカウンセラー及びさわやか相談員の活用状況 ④生徒へのアセスメントの回数				
3	<現状> ○学校運営協議会と協働しながら、地域全体で生徒を育てていくことを共有した。 <課題> ○保護者や地域の方々为学校に来る機会を増やしていくこと。	・PTAとの連携強化 ・学校運営協議会との連携強化 ・本校教育活動・PTA活動に関する情報の発信	①PTA本部役員の方々の皆さんとの打ち合わせを行う回数を増やして行く。 ②学校運営協議会における熟議を充実する。	①PTA及び期成会の支出について整理状況 ②学校運営協議会における熟議の内容				
4	<現状> ○保護者や生徒、地域住民の皆様方の負託を受け、岸中学校に通う生徒のために、業務に勤しむ姿を見ることが出来る。 <課題> ○歴史と伝統ある岸中学校ゆえに、異動してきた教職員が、岸中学校の保護者や生徒の要望をつかみきれずにいる。	・教職員の教育に係る意識や知識の向上 (エージェンシーの向上)	①教職員への啓発資料を作成し、掲示もしくは配付する。また、運営委員会、生徒指導委員会、職員会議における支持伝達における啓発 ②臨時的任用教員への指導 (学習会) を実施する。 ③教職員輪番制による危機管理スピーチを実施する。	①啓発資料の作成回数 (月に2回以上) ②臨時的任用教員の研修回数 (5回以上) ③危機管理スピーチの実施回数 (8回以上)				